

地域情報

天草支部技術部会における先進地視察研修の開催について

(一社)熊本県野菜振興協会 天草支部

天草地域は、園芸品目での新規就農者が多く、中でも野菜では、販路が確実で安定的な所得が見通せるキュウリとミニトマトの2品目を推奨品目とし、新規就農者の支援に関係機関一丸となって取り組んでいます。

天草支部では2月29日(木)に技術部会員の研修として、新規就農者の育成に力を入れているJAさが白石地区の先進地視察を実施しました。当日は、農協、市町、県から9名が参加し、たまねぎ栽培の現地ほ場やいちごトレーニングファームでの取り組みについて調査を行いました。

たまねぎは、白石町において主要な園芸品目の一つで、987ha(761名)で栽培されており、機械化の推進やべと病発生の抑制の取り組みにより、省力的かつ高品質なたまねぎ生産が行われていました。また、いちごトレーニングファームでは、現在7名の研修生に対し、座学と実践による技術習得や生活面など、就農するまで関係機関一体となった総合的な支援が行われていました。当ファームを卒業した就農者も現在9名で、1人の離農者も出ていないとのことでした。

天草地域でも、今回の研修で学んだことを活かせるよう、引き続き関係機関一体となって、新規就農者の技術習得、定着支援に力を入れていくとともに、就農5年以上の生産者へも更なる技術と所得向上に取り組んでいきます。



たまねぎの現地視察



いちごトレーニングファーム視察